

## レモン雑記

5月は晴天が多くここ片浦もさわやかである。レモンの出荷はこの時期最後になるという片浦農協を訪問した。20kg入りコンテナに入ったレモンが栽培農家の人により次々と運び込まれて大変活気にあふれていた。最終的にはコンテナは150個以上で早速選別され10kg詰め段ボールに箱詰めされていく。小粒レモンも多い、回青レモンもかなり見られる。これらは寒さによるものと考えられ格落ちとして分別されていた。一部は市場へあとは共同商事向けであるという。黒点病もかなり見られる。今年はレモン不作の年しかも3月の遅霜の降りそうな寒さのため小粒レモンが多い、これから肥大させることは不可能である。今後勇定、施肥、低農薬果樹は農薬散布の作業が入るので除去される。

回青レモンもかなり多く色は緑色が鮮やかであるが香りもなく不合格品である、寒さの影響が原因不明である。

今年は成り年、つまり豊作が期待されるのであるが、梅雨の降水量、夏の暑さの度合い、降水量平均気温等ほどほどにと願わずにいられなし。(09.5.26.)

レモン畑を見学してみると、レモンの木の先端に赤紫色のつぼみが見られ枝のあちこちに大豆位の小さなレモンが多数付いていて、一方4月頃花が咲いたものはピンポン玉大に成長している。黄色く成熟したレモンもあちこちに見られ花から成熟果と1年を凝縮したような風景が見られすばらしかった。(09.6.13.)

今日はバレンシアオレンジの出荷目ということで県消連も4人参加で500kgの箱詰を手伝った。収穫までの状況や苦勞について作業をしながら貴重な体験を聞くことができました。片浦レモン研究会のご厚意に感謝いたします。

今頃はバレンシアオレンジが最盛期で冷蔵庫で冷やして食べるとおいしいのだそうです。戴いて食べて見ると柑橘の香ばしい香りがあたりに漂って程よい甘味があり中の袋も食べられおいしかったです。お土産を沢山戴いて小田原城の花菖蒲とアジサイを見て帰途に着きました。

広島県レモン健康食育フォーラムにおいて広島県立大学が研究発表。尾道市118人の女性に1日1個(果汁30ml)を5ヵ月間食べてもらった。調査結果。血圧血液成分動脈硬化などについての変化を見るとレモンは血圧を抑え、動脈硬化(脈波伝播速度)を低下させ、体脂肪が多いほど濃度が高まるホルモン(レプチン)の濃度が低下した。レモン果汁1日15ml以下でも毎日摂取し続けると、善玉コレステロール(HDL)が増え中性脂肪が減る。効果を確認した。

(5.29 一農業新聞) 文責:東理